

2021年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
高度建築法規											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平山浩樹			実務 経験	有	職種	建築設計/一級建築士				
授業概要											
<p>建築は社会的なものであり、その存在意義からも法令に対する遵守は不可欠な要件である。これまで学習してきた建築法規の基礎を踏まえ、より高度で実践的な形で使いこなすために、建築基準法に適合する建築物を演習を通じて応用力として習得することが学習目的である。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、建築法規の講義科目を実践と再復習を併用して学習することで、建築法規に関する興味を持たせ、1級建築士試験の受験に向けた足がかりとすることが到達目標である。</p>											
授業方法											
<p>建築法規の基礎について復習をした上で、簡単な設計演習を通して確認申請図書の作成へ取り組む。法適合するように計算で検証し、申請図書を完成させる。また、自身の設計課題を法的知識を用いて検証する。</p>											
成績評価方法											
平常点	30%	普段の小テスト、建築論に関する発表について採点を行う									
試験	50%	建築法規の基本に関する試験により採点を行う									
レポート	20%	最新の建築法規特に確認申請に関するレポートにより採点を行う									
履修上の注意											
<p>この授業では自ら能動的に行うことを留意する。特に授業で学んだことを自身の設計課題に活かす際は、類似規模の既存建築物の法律制限はどのように解決したか等を自身で研究する必要がある。</p>											
教科書教材											
建築関連法令集/資料など配布											
回数	授業計画										
第1回	イントロダクション この授業の内容、法規の重要性など										
第2回	用語の定義 長屋の定義と用途地域 用語の定義、演習問題										
第3回	用語の定義続き、面積、高さ 建築面積、延べ床面積、高さ、階の判定										
第4回	建築確認申請 建築確認申請、手続きについて										
第5回	一般構造1 天井高さ、換気、階段、シックハウス 問題演習										
第6回	一般構造2 採光計算										

2021年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
高度建築法規	
第7回	中間試験 中間試験及びバックアップ
第8回	高さ制限 高さ制限 基本概念について
第9回	高さ制限 計算問題を中心に、道路斜線制限、隣地斜線制限、北側斜線制限
第10回	確認申請書作成について 図面の書き込み、計算各種チェックの方法についてレクチャー
第11回	確認申請書作成 図面の書き込み、計算各種チェック、実践（体験型学習）
第12回	その他の法律のおさらい 防火・準防火地域、耐火・準耐火建築物など
第13回	建築士法 建築士業務に関する改正法などを包括的に理解する